

農産物

伊達市は道内有数の野菜産地で、「伊達野菜」として市場で高い評価を得ています。全道トップクラスの出荷量を誇る野菜も多く、朝収穫したレタスの即日発送やブロッコリーの真空予冷庫の導入など新鮮な野菜を届ける取り組みも積極的に行っています。また、大滝区はきのこの産地として有名で、国道276号線沿いにある「きのこ王国」では採れたてのきのこを使った絶品料理が味わえます。



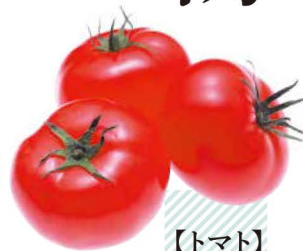
【伊達野菜】

色とりどりの豊富な種類の野菜が栽培される伊達市内には、物産館をはじめ直売所が多数存在。



【きのこ】

大滝区は、きのこの名産地としても有名で、年間をととして様々なきのこが栽培されています。



【トマト】

有名な伊達野菜のひとつにトマトがあります。「藤五郎」という名の伊達産トマトはそのおいしさから、ファストフードのモスバーガーでも使用されています。



【マツカワ】

自身の高級魚で、漁獲量がとても少ないため「幻のサカナ」と呼ばれていましたが、現在はこのマツカワを増やす取り組みが北海道栽培漁業伊達センターで進められています。



【ホタテ】

噴火湾のホタテ養殖は稚貝に穴を開け紐でつるす「耳吊り」と呼ばれる方法で行い、砂出しする必要がありません。

水産物

伊達市の水産業は噴火湾栽培漁業の拠点としてサケ・マスのかほ事業やホタテの養殖事業などの推進、平成18年度にはマツカワ100万尾の種苗生産・中間育成施設が整備されるなど「獲る漁業から育てる漁業へ」と転換しています。



畜産物

伊達市は気候・風土や地域柄にこだわった生乳づくり、そして、その生乳を生かした付加価値の高い乳製品作りなどに取り組んでいます。また、乳製品製造時の副産物「ホエー」を豚に給餌し、肉質が柔らかくジューシーな黄金豚の飼育も行われています。

【黄金豚】

黄金豚は3種類の品種を交配した希少な三元豚で、きめ細やかな肉質と深い旨味が特徴です。



【白いプリン】

伊達産牛乳が原料の、牧家の白いプリンはテレビでも取り上げられるほどの人気商品です。



130年の歴史を誇る 北湯沢温泉郷

北湯沢温泉郷の歴史は古く、1882年(明治15年)杜警町に入植していた上野梅吉が北湯沢温泉を開いたのが起源とされています。泉質は無色透明のアルカリ性単純温泉で、神経痛やリュウマチ・皮膚病によいといわれ、新緑や紅葉、雪景色といった長流川の渓谷を四季折々に彩る景色を湯船から楽しむことができます。

住 北海道伊達市大滝区北湯沢温泉町



写真提供/きたゆざわ 森のソラニワ